

市政に対する

一般質問

一般質問は6月14日・15日・16日の3日間にわたって行われ、11人の議員が活発な論戦を展開しました。紙面の都合により、質問・答弁ともに質問者が要約しています。詳細な内容は、会議録をご覧ください。なお、会議録は市立図書館等で閲覧することができます。また、本会議の会議録はホームページでご覧いただくこともできます。ただし、最新の会議録の提供までには3ヵ月程度かかります。

総合治水計画の進捗状況と課題について

中嶋 通治

(問) 吉川中央区画整理事業地内の総合的な治水計画・課題及び進捗状況についてお伺いを致します。併せて第一調整池の修景工事の内容についてもお伺いを致します。

(答) 都市建設部長 平成22年度には流入ゲートを設置、今年度の完成を目指します。雨水函渠の進捗状況は工事に当たり、地下埋設物が入り組んでおり、切り回し工事を先行し、交通の便に支障が無いようにしています。課題については、地下埋設物が多く、工事内容に変更が生じています。今後、平沼公園南側の工事を予定しています。第一調整池は、上段に園路を整備、植栽し、中段に、ジョギングコースと健康遊具を配置し、多目的広場を整備します。

◆水辺再生100プランについて

(問) 埼玉県ではHPで平成22年度新規着手予定個所に鍋小路用水路があるが、今後の予

定と計画内容についてお伺いを致します。

(答) 市長 大場川基点より笹塚一丁目7番地先約400mの遊歩道の整備については、関係自治会や、農事組合、葛西用水路と当市を含めた「ワーキングチーム」を立ち上げ検討会を行い、平成23年度の秋頃から工事を実施する予定であると聞いています。

水道水フロリデーシオンについて



稲垣 茂行

(問) 水道水フロリデーシオンに対する市の基本的考えは。

(答) 市長 水道水フロリデーシオンは、WHO（世界保健機関）をはじめ欧米の医学・歯学等、関係機関が推進しており、現在60カ国以上で実施されている。

当市でも、これまで水道水フッ化物添加検討部会やフッ化物応用研究会で検討してき

た結果、安全性・有効性について市民への啓発・普及が必要と考え、取り組んできた。フロリデーシオン実施については、市民の理解を得ることが重要と考えている。引き続き、啓発活動を行っていきたい。

(問) 水道水フッ化物添加検討部会は、「フロリデーシオンの虫歯への効果は理解するが、安全性に不安が残る。実施は時期尚早である。」と結論を出した。

それがなぜ、フロリデーシオン推進ということになるのか。いつ、誰が決めたのか。

(答) 健康福祉部長 実施しようということをやっている訳ではない。安全性・有効性の周知を図っている。

(問) 虫歯予防の対策、方法はいろいろある。フッ素の利用でも、洗口（ぶくぶく）・塗布・歯みがき剤、そしてフロリデーシオンも。

健康増進や成人病対策としての食生活や運動と同様、虫歯予防の方法も個人の判断、選択に委ねることでは。

(答) 市長 今後、議論の中でおのずと結論が出ると考える。